



国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

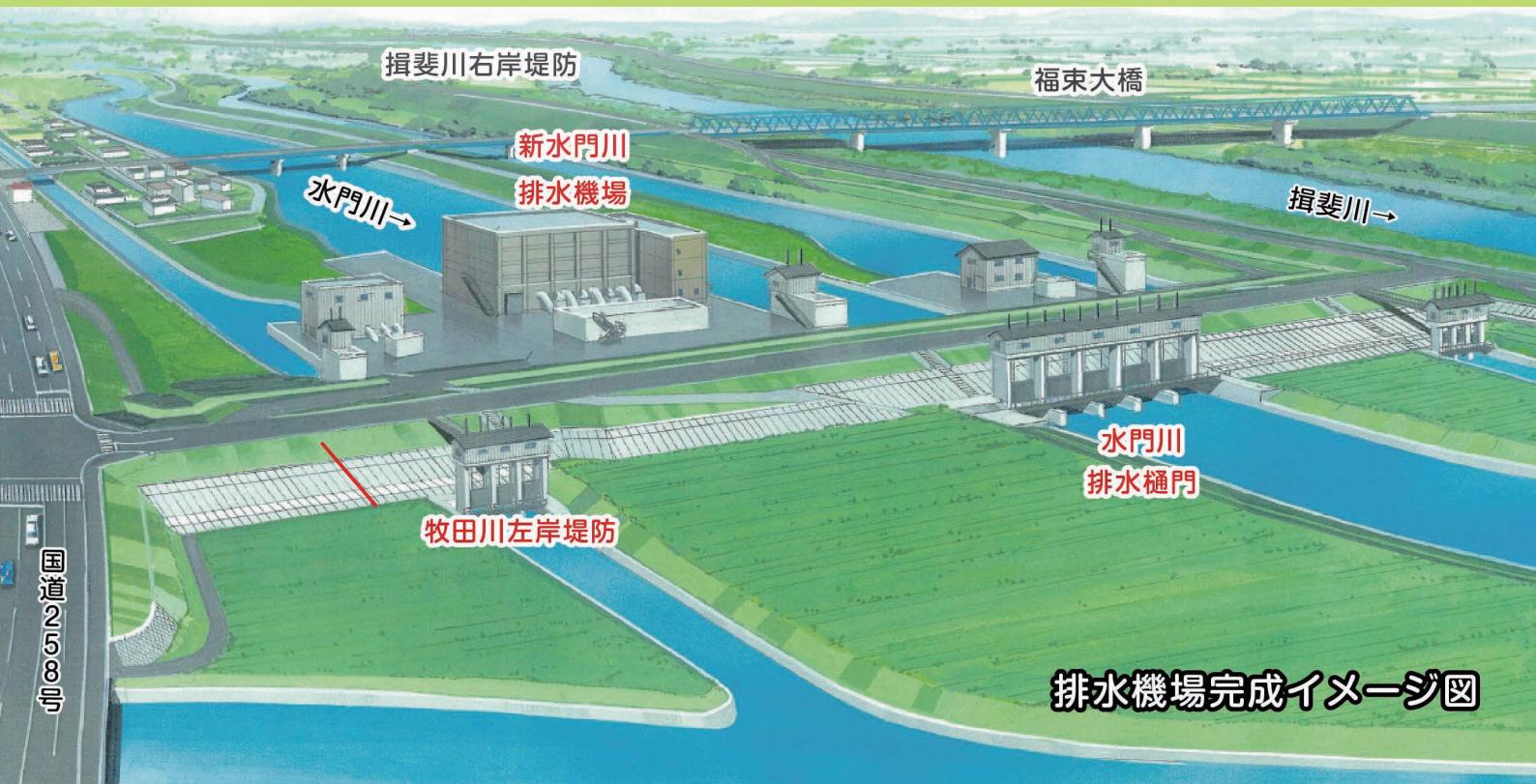


木曽川上流特定構造物

改築事業

(新水門川排水機場)

～安全で、環境負荷の少ない工事を目指して～



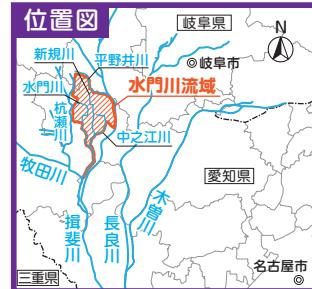
排水機場完成イメージ図

水門川流域の概要

すいもんがわ きふけん おおがきし かさぬいちょう
水門川は、岐阜県大垣市笠縫町付近に源を発し、
わのうちちょう しおばみ いびがわ まきたがわ
輪之内町塩喰で揖斐川の支流である牧田川に合流
かんせんりゅう する幹川流路延長23km、流域面積26km²の河川
です。

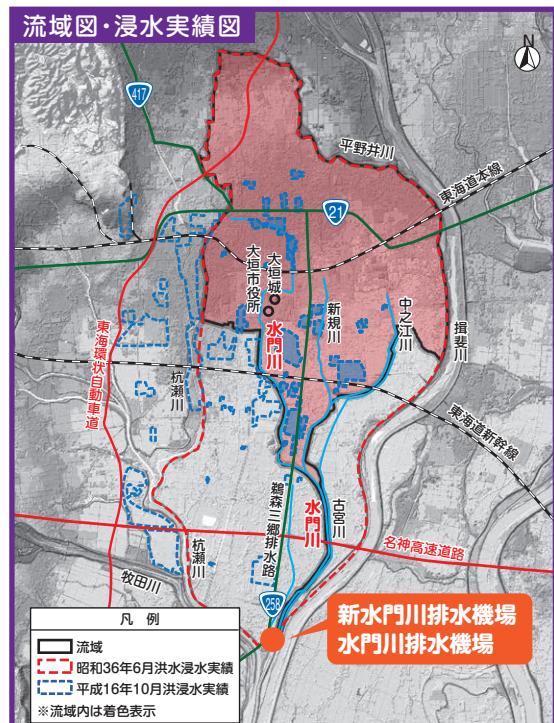
すいもんがわ おおがきし
水門川流域には大垣市の中心市街地があり、東
海道新幹線・JR東海道本線・名神高速道路・国道
21号等の主要交通、住宅や商業・工業施設等が集積
しています。

すいもんがわ いびがわ くいせがわ
水門川流域は、東に揖斐川、西に杭瀬川、北に
ひらのいがわ きゅうわじゅう
平野井川等の旧輪中に囲まれた平坦な地形で、出
いびがわ まきたがわ くいせがわ
水時に揖斐川、牧田川、杭瀬川の水位が高くなる
と、自然排水が困難になるため、これまでに度々、
浸水被害が発生しています。



【水門川流域の諸元】

流域面積 26.18km²
幹川流路延長 23.1km
流域内人口 約8.1万人(H27年)
流域内市町村 1市1町(大垣市、神戸町)
総排水量 新水門川排水機場26m³/s
(ポンプΦ1.7m×4台)
水門川排水機場21m³/s
(ポンプΦ1.5m×5台)



出典:「岐阜県提供資料」

過去の主な災害

昭和36年6月の豪雨(累加雨量500mm)により、
すいもんがわ
水門川流域では大規模な浸水被害が発生しました。
すいもんがわ まきた
これに対応するため、昭和43年に、水門川が牧田
がわ しんすいもんがわ
川に合流する地点に新水門川排水機場(国管理)が
整備されました。

しかしながら近年になっても、平成16年10月や
すいもんがわ
平成25年9月の出水により、水門川流域で大規模
な浸水被害が発生しています。

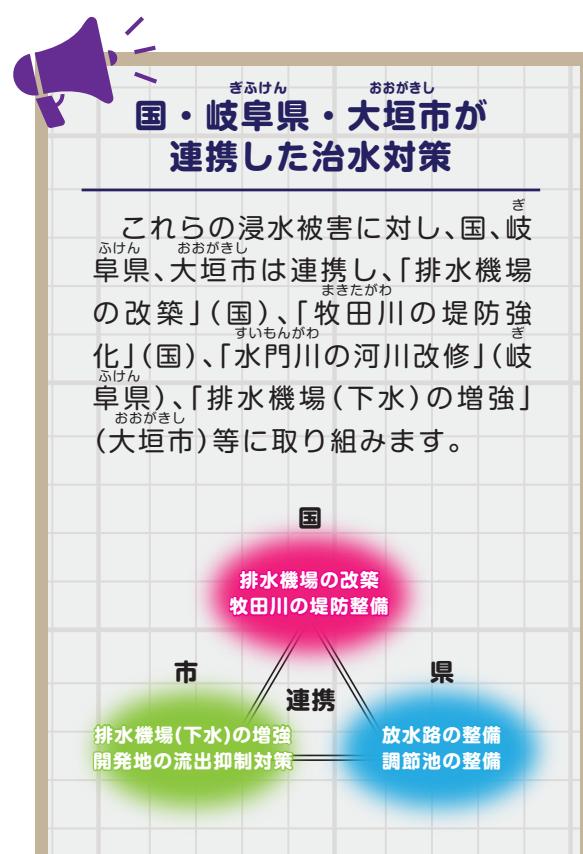


すいもんがわ やしま
水門川(八島地区)の浸水状況
(平成16年10月洪水)



まきたがわ くいせがわ いびがわ
牧田川、杭瀬川、揖斐川の出水状況
(平成16年10月洪水)

出典:「一級河川木曽川水系牧田川流域
河川整備計画、岐阜県」



新水門川排水機場と牧田川左岸堤防の一体的な整備

新水門川排水機場(国管理、昭和43年完成)、水門川排水機場(岐阜県管理、昭和25年完成)は設置から50年以上が経過し、老朽化が著しくなっています。

交換部品の製造中止など、抜本的な修繕は困難であり、機器の故障等により出水時に不具合が生じることが懸念されます。

また、現況の牧田川左岸堤防の高さと厚みは十分ではありません。

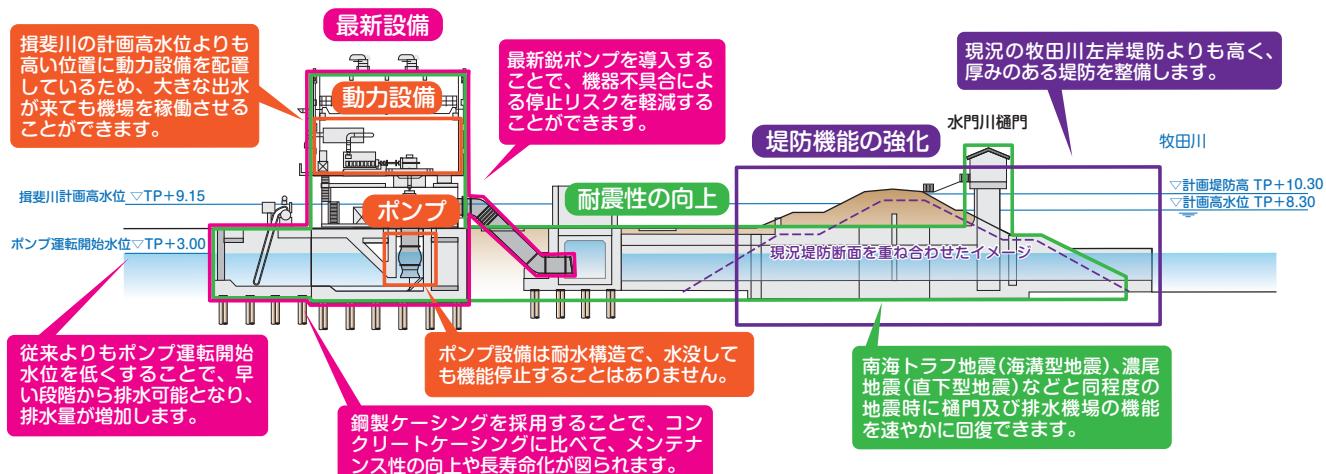
このため、新水門川排水機場と牧田川左岸堤防の一体的な整備に取り組みます。



新水門川排水機場の
1号主ポンプ老朽化状況

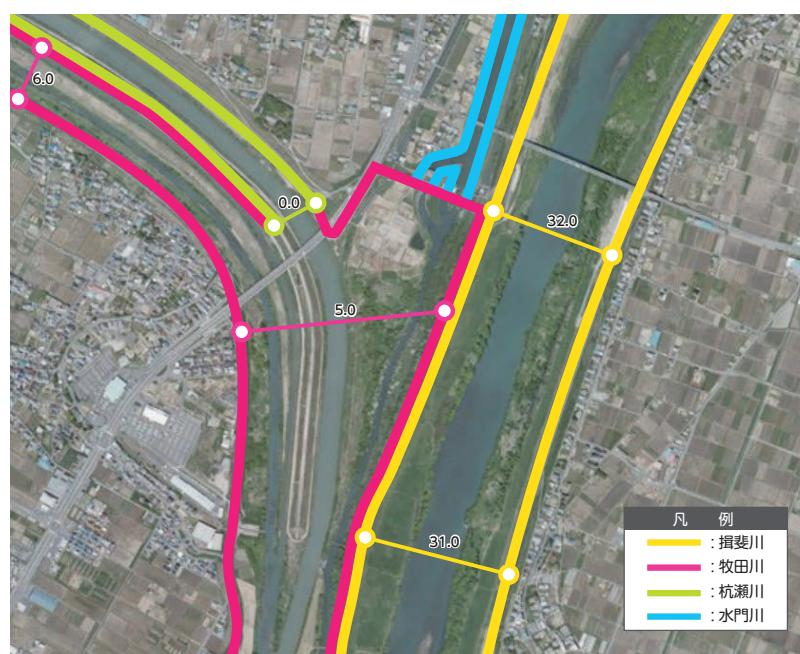
【対策】

- 最新鋭ポンプ導入による洪水初期の排水能力強化、機器停止リスクの軽減、長寿命化
- 動力設備のかさあげ、耐水構造の強化により、排水機場周辺が浸水しても機能停止しない
- 耐震性が向上(南海トラフ地震と同程度の地震発生時に橈門及び排水機場の機能を速やかに回復)
- 牧田川左岸堤防の整備(堤防の高さと厚みを十分に確保)



揖斐川・牧田川・杭瀬川・水門川の関係

揖斐川・牧田川・杭瀬川・水門川等は古くから入り乱れて流れていきました。その後、牧田川の揖斐川合流点の下流への付替えや杭瀬川の背割堤の整備等により、現在の河川となっています。



事業の概要

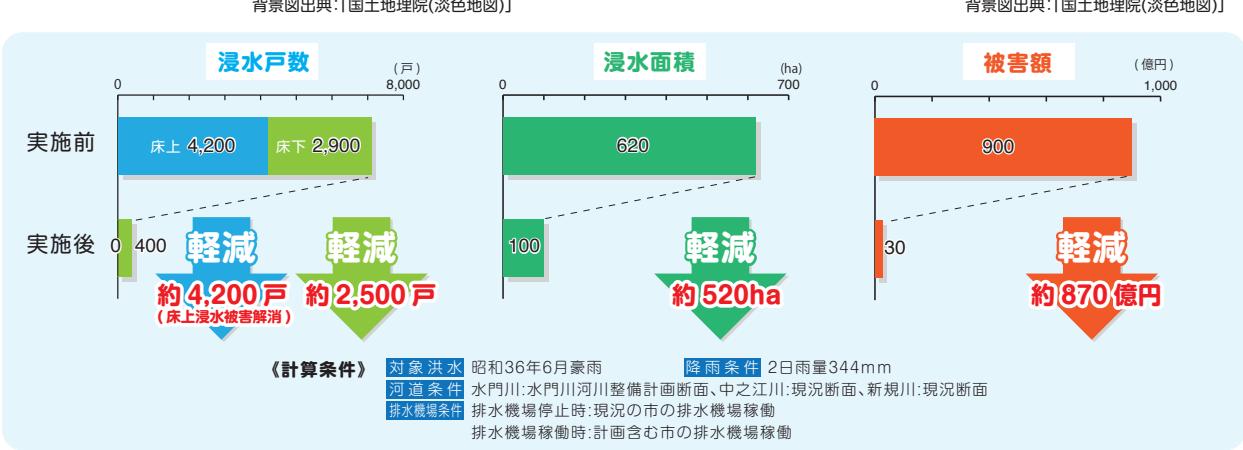
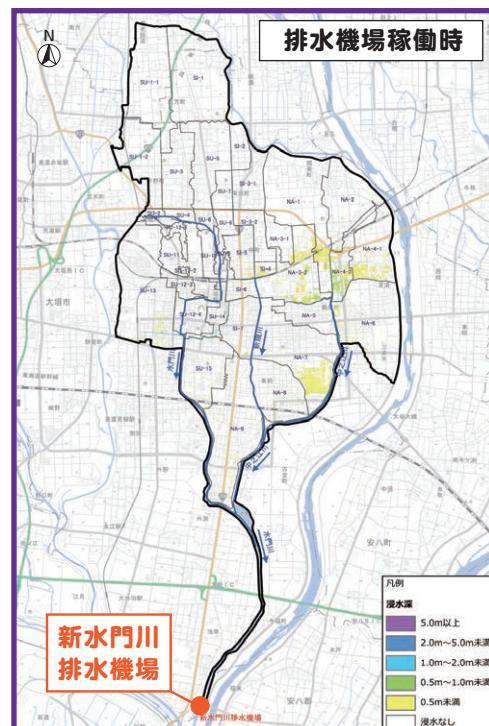
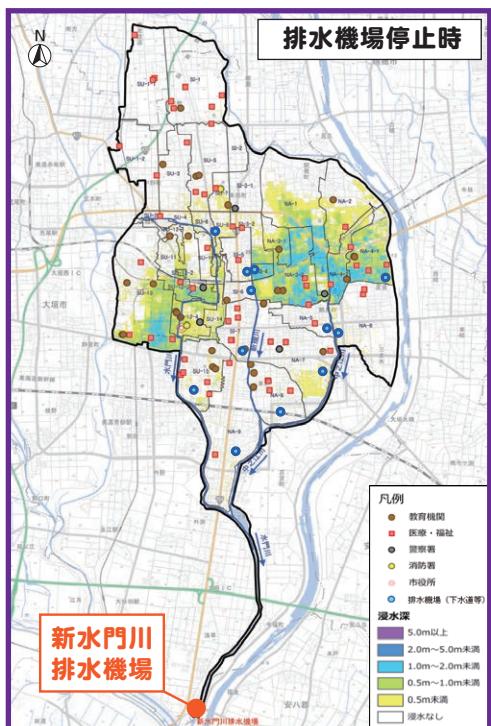
| | |
|------|--|
| 事業名 | 木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場) |
| 事業目標 | 昭和36年6月豪雨と同規模の降雨に対し、床上浸水被害を防止 |
| 事業内容 | 新水門川排水機場整備(ポンプ $\phi 2.0m \times 4$ 台、排水能力 $47m^3/s$)、牧田川左岸堤防整備 |
| 事業費 | 約240億円(直轄負担分) |
| 事業期間 | 令和3年度～令和15年度(予定) |

岐阜県
新水門川排水機場と牧田川左岸堤防を一体的に整備します。

事業効果

昭和36年6月洪水と同規模の洪水を想定した場合、新水門川排水機場が停止すると、浸水戸数約7,100戸、浸水面積約620haの被害が想定されます。木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)により床上浸水被害の解消を図ります。

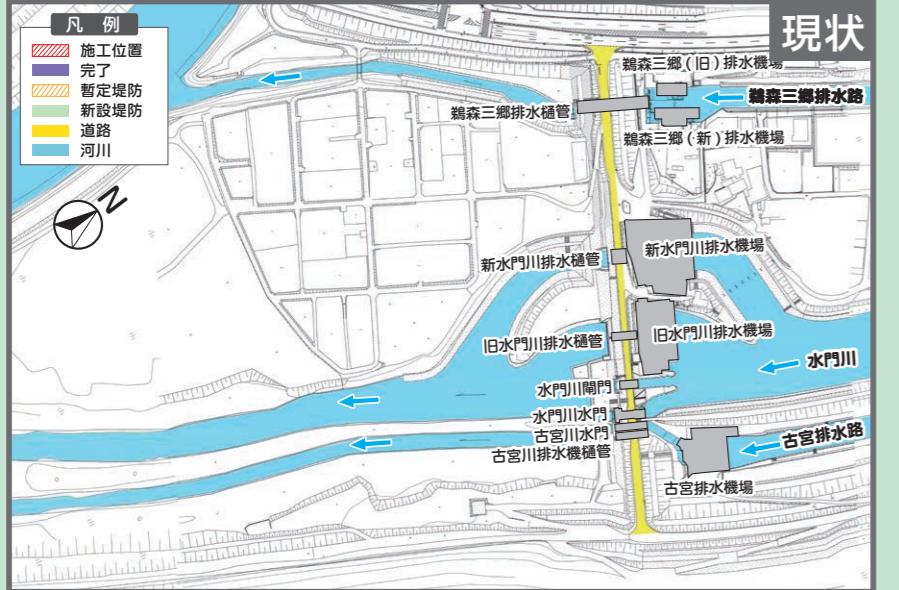
木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)の完成によって被害が軽減



工事の手順

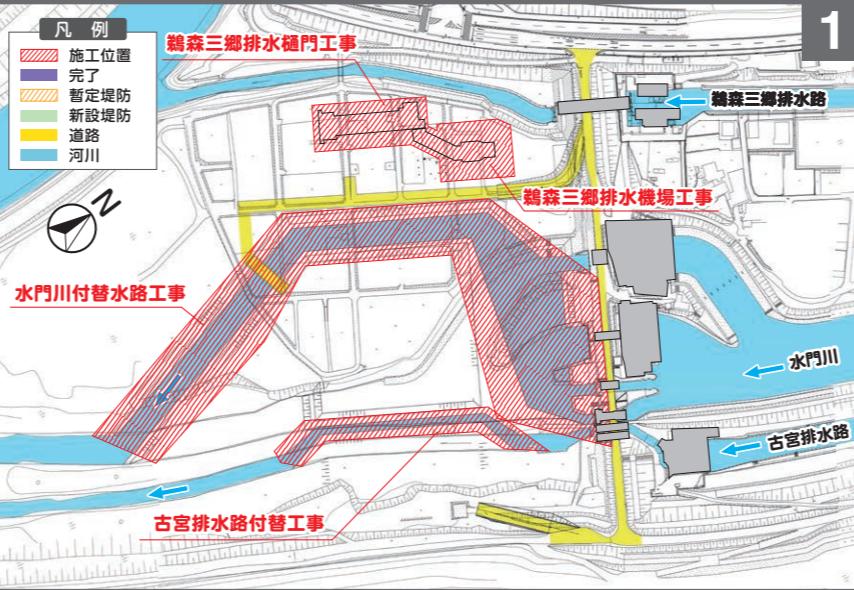
(※R7年10月時点の施設配置、手順であり、今後変更の可能性があります)

■鵜森三郷排水樋門及び鵜森三郷排水機場を整備します。
■水門川、古宮排水路の樋門・排水機場の整備に先立ち、水路の付替えを実施します。

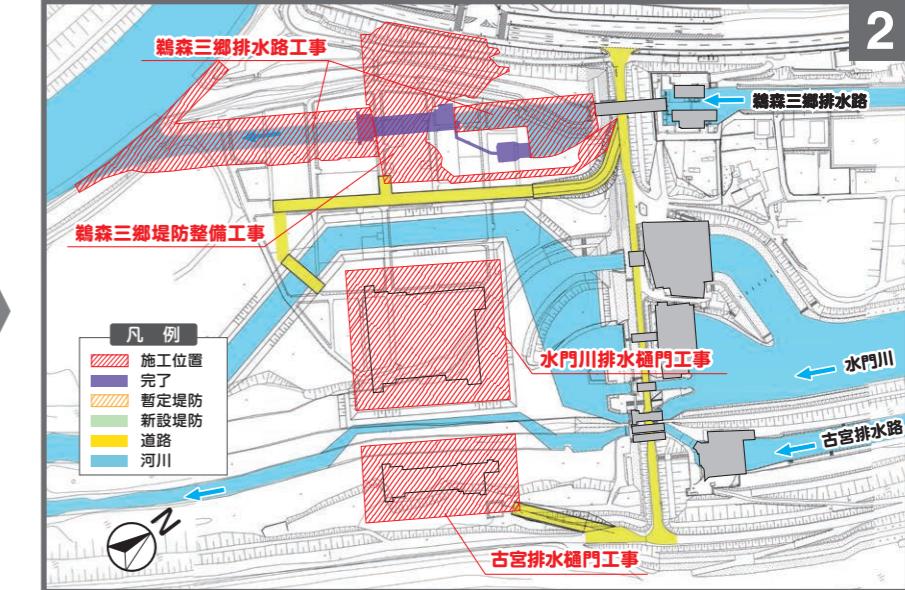


排水機場を5から3に、
樋門・樋管を7から3に
集約

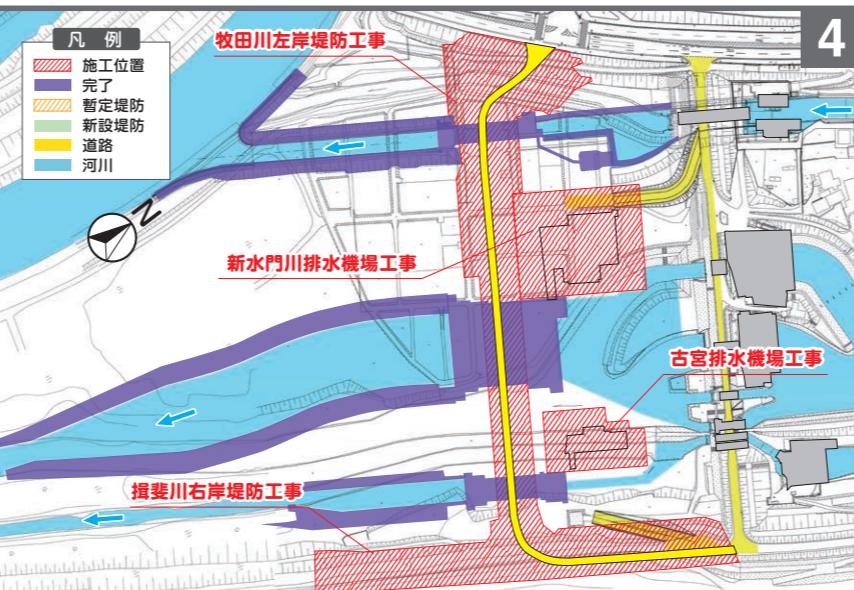
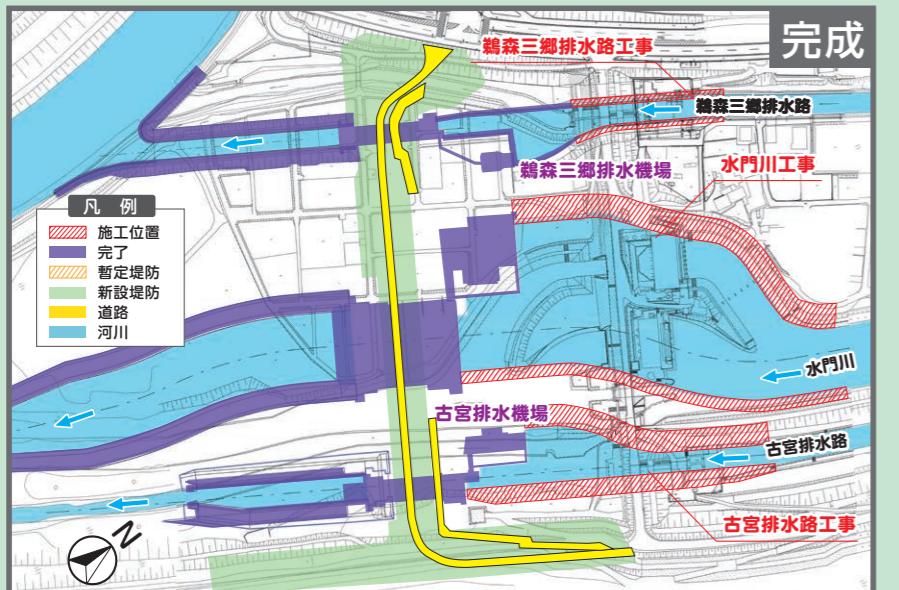
■旧堤防・施設を撤去します。



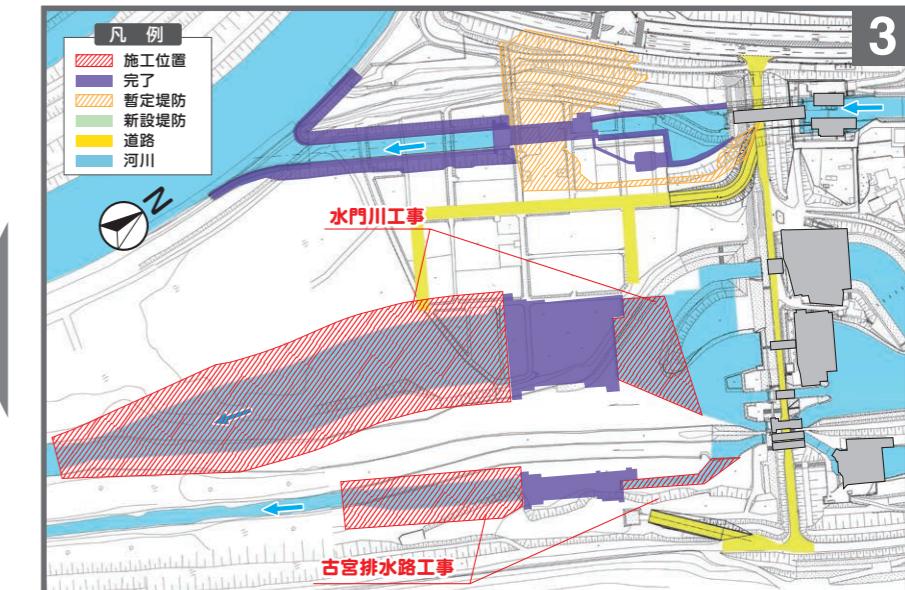
■鵜森三郷排水路を新しい水路に切替え、牧田川左岸堤防の一部を整備することで、鵜森三郷排水機場を供用します。
■水門川排水樋門、古宮排水樋門を整備します。



■新水門川排水機場、古宮排水機場を整備すると共に、牧田川左岸堤防を整備します。



■水門川及び古宮排水路の樋門・樋管工事の完成に合わせ、新しい水路に切替えます。



工事において配慮する事項

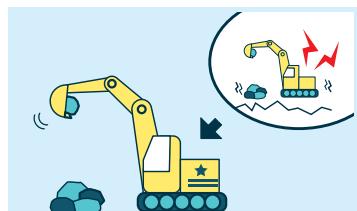
一般車両の経路確保

工事用車両の通行経路を徹底、交通誘導員の配置を行い、工事現場周辺を通行される皆様の通行経路をしっかり確保します。



騒音・振動対策

工事中の騒音や振動を抑制するため、低騒音・低振動の施工機械を使用します。また、防塵や泥による汚濁対策として、現場から退出する際に車両の泥落としを徹底します。



生態系への配慮

魚類や鳥類等の生物や植物の生息環境に配慮し、貴重種が存在する場合は、必要に応じ移植等を実施します。また、河川への濁水対策として、汚濁防止フェンス等を設置します。



河川増水時の安全対策

河川内工事であるため、河川の増水が予想される際は、堤防天端上や既設排水機場の敷地等へ退避し、安全を確保します。



工事中の治水安全性

現在の排水機場を稼働できる状態を保ちながら、新しい排水機場や樋門、堤防を作ります。



新技術・新工法の活用

地盤改良工事: CI-CMC-HA工法 NETIS番号(QS-160049-VE)

- ・樋門の施工場所は、一部硬質な砂礫層が存在することから、このような地盤にも適用可能な技術を活用した工事を行います。
- ・高品質な地盤改良で大量施工が可能であり、工期短縮やコスト縮減が可能となります。





𝕏 @mlit_kisojyo

問い合わせ

国土交通省中部地方整備局 木曽川上流河川事務所

〒500-8801 岐阜県岐阜市忠節町 5-1

電話(058)251-1321 FAX(058)251-4301

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

2025年10月 ver2.0